

# 第1回 琉大眼科診療連携セミナー

先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第1回 琉大眼科診療連携セミナーを  
下記の要領にて開催させて頂く運びとなりました。

日常診療のお役に立てるものと考えていますので、多数のご参加をお待ちしております。

日時 平成31年 **2月5日** **火** 19:00~21:00

場所 沖縄かりゆし  
アーバンリゾート・ナハ  
「ニライカナイ」

座長: 知念 靖 先生 (沖縄県眼科医会 会長)

19:00  
~  
20:00

基調講演 『明日から役立つ眼底画像診断ケーススタディ』

古泉 英貴 先生 (琉球大学大学院医学研究科医学専攻眼科学講座 教授)

座長: 古泉 英貴 先生 (琉球大学大学院医学研究科医学専攻眼科学講座 教授)

20:00  
~  
21:00

特別講演 『症例から紐解くぶどう膜炎』

園田 康平 先生 (九州大学大学院医学研究院眼科学 教授)

※講演終了後、ささやかながら情報交換会を予定しております。

共催: 沖縄県眼科医会  
千寿製薬株式会社

## 基調講演 「明日から役立つ眼底画像診断ケーススタディ」

### 古泉 英貴 先生（琉球大学大学院医学研究科医学専攻眼科学講座 教授）



先生方には日頃より琉大眼科に多くの患者様の御紹介を頂き、大変感謝しております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

2017年10月の琉大眼科着任以降、より円滑な診療体制や世界基準の新規機器導入を順次進め、高度かつ最新の地域医療を提供できるように舵取りを行っているところです。とりわけ私の専門分野である眼底疾患においては従来の蛍光眼底造影に加え、OCT、OCTアンジオグラフィ、眼底自発蛍光撮影などの非侵襲的検査の役割が飛躍的に大きくなってきており、検眼鏡所見と合わせてこれらの検査画像を正しく読む力が求められています。

本講演では先生方から琉大眼科に御紹介頂いた眼底疾患の症例の中でも示唆に富むケースを供覧し、正確な診断に至るためのステップと、それに基づいた治療戦略の立て方のコツをお話したいと思います。普段からの緊密な診療連携に加え、このような研究会を通じて沖縄全体の診療レベル向上を行うことは私の中でもトッププライオリティであります。これからも琉大眼科への益々の御支援を何卒宜しくお願い致します。

## 特別講演 「症例から紐解くぶどう膜炎」

### 園田 康平 先生（九州大学大学院医学研究院眼科学 教授）



ぶどう膜炎は感染症、膠原病・自己免疫疾患、悪性腫瘍など多種多様な原因によって起こります。原因病態の特定に苦勞するわけですが、やみくもに検査を行うのではなく、臨床所見から系統立てて考えられる疾患をある程度絞り込んだ上で検査オーダーするのが効果的です。

ぶどう膜炎の治療は、現在副腎皮質ステロイド薬中心に行われています。しかし以前に比べステロイド薬全身投与を行う機会は減少し、重症例でもデポ型ステロイド薬の経テノン嚢下球後投与・硝子体腔投与などの局所投与で治療する機会が増加しています。また難治性のぶどう膜炎に対して、抗TNF治療が臨床現場で使えるようになってきました。

ぶどう膜炎を苦手だと感じている実地医家の先生は多いと思います。講演では私が経験した症例を元にして、ぶどう膜炎診断・治療について私の考え方や日常行っている診療をご紹介したいと思います。見慣れないぶどう膜炎をみたときに、どのように診察を進めていけばいいか？理解の一助になれば幸いです。